

# 筑波大学附属中学校

2010年版

市販の学校案内は、良いことと大まかなことしか書かれていません。  
受験サポート進学教室アシストでは、「生」の情報を大切にしていきたいと  
考えています。

客観的視点も大切ですが、主観的視点も一意見として取り入れるべきです。  
中学二年生のお嬢様をもつ保護者の方にご協力いただきました。  
学校選択そして入学後の目安としてご活用いただければと存じます。

## はじめに

この学校の魅力を一言で言い表すと、「人」です。  
他の学校を知っているわけではないので、どこかと比べて、という話ではないのですが…生徒の印象は「雑草のようにたくましい」生徒が多いと思います。  
家庭という大地にしっかりと根をはった生徒たちが、先生という北風や太陽にさらに鍛えられ育てられている。時には冷たい北風に薙ぎ倒されても、子ども同士励まし合っているの間にか起き上がり、より一層たくましくなっている…子ども達を見ているとそんなイメージが目に浮かんできます。

## 制服について

女子の制服はセーラーで胸当てが無いので冬は寒そうですが子どもは案外平気です。コート着用時はマフラー使用が認められています。アンダーシャツは市販のVネックTシャツでも大丈夫です。

男子の制服は詰襟です。帽子をかぶっている人はあまり見ません。

5月のPTA総会の前にお下がりのバザーがありますので、そこで予備を買うことも出来ますが、人気が高いので、すぐ無くなってしまいます。

コートやセーターは指定のものはありません。色が紺か黒と定められています。

美術のエプロンは指定の制服を作る所で購入できます。お店によって色や生地が微妙に違うようです。

## 学校生活について

### ☆ 授業参観

5月のPTA総会の日は一日参観できます。

### ☆ 個人面談

前期(2期制)に一度あります。それ以外で相談したいことがある場合は個人的に申し込めます。生徒と先生の面談は定期テストの後にあります。担任の先生以外でも気になる教科の先生に生徒の方から申し込んで面談していただくことが出来ます。

### ☆ 学校行事

運動会と学芸発表会が2大行事です。

運動会は集団競技のみです。個人的にはムカデ競争が見ごたえがあるように思います。それぞれのクラス毎に縦割りのチームです。パフォーマンスは3年生のリーダーが中心になり振り付けを考え、放課後の練習をしているようです。それぞれ委員会などで忙しく全員が揃うこともなかなか出来ない子どもから聞いていたのに、体育祭当日にはきちんと仕上がっていたのでびっくりしました。

学芸発表会は、日ごろの授業でどんなことをやっているのか垣間見ることが出来るので保護者にとっては楽しみな一日です。お化け屋敷のようなものがないので小学生のお子さんには、もしかすると物足りないかもしれません。

合唱コンクールもありますが、保護者で見学できるのは中3のみです。

先日、初の試みということで、保護者会の際、ビデオを上映してくださいました。

3年に1度外部のホールを借りてやる時には全ての保護者が見学できるとのことです。全ての行事に準備小委員会があり、遅くまで残って話し合いや準備をしているようです。中2から様々な委員会に参加できるようになり、これらの委員会に参加すると筑波の自治をしっかりと堪能できそうです。

## ☆ 宿泊行事

それぞれの行事の前に学校から丁寧な説明がありますので、全く心配はいりません。

1年生富浦(遠泳) 娘の代では、全員泳げるようになったそうです。丁寧な指導があるので、学校外でスイミングスクールに通ったりする必要は全くないと思います。

何十年も前に卒業された先輩方も来てくださって、フンドシ姿でご指導くださったそうです！！！！

2年生菅平(登山) 装備の準備がかなり大変です。でも「登山をするにはこれだけの準備が必要なんだよ。」ということをお教わっているのだと思います。先生方は違った気候条件の時に何度か登って下見されているらしい、と子どもが言っていました。富浦といい、菅平といい、危険を知り、命を守るのに必要な教育がとても充実していると思います。

3年生修学旅行 学年を5つのグループに分け、それぞれの目的地でそれぞれの活動をします。引率の先生によって少しずつ内容も変化しているようです。来年は「文学コース」「音楽コース」「酪農コース」「大井川コース」「自然観察コース」です。「大井川コース」は延々と大井川を上流へ遡って行くのだそうです。面白そうなので、私も参加したくなりました。

それぞれの宿泊行事の準備はその時の学級委員が準備委員を兼ねています。

## ☆ その他

クラス替えは1年生と2年生の間に一度あるだけなので、2、3年生は同じメンバーです。3年生は気心の知れたメンバーで最初からいろんな行事に没頭できるようになっているのかな、と思います。

1年生と2年生は交流を深めるため5月に、小金井公園や昭和記念公園などに出かけます。このようないろんなレクリエーションなどを通して1年生の夏休みが始まる頃には、ほとんどのお子さんのお名前はわかるようになっていたようです。

## 勉強面について

### ☆ 宿題

詳しくはよくわかりませんが、ドリル形式の宿題はほとんど出ないようです。各自で問題集を買ってやりなさい、ということなのでしょう。レポートの宿題は良く出ているようです。中一の夏休みはこれまでレポートなど書いたことがないのに、主要教科だけでなく家庭科や体育のレポートまであり、本当に全部終わるのだろうか、と親は頭を抱えました。部活もあるので、なかなか忙しい夏休みでした。中二になると、それなりに計画を立ててなんとか終わらせていたようです。(たぶん、終わっていたと思います…。)最近子ども同士メールなどで相談しあいながら仕上げているようです。本当にたくさん変わったものです。

### ☆ 勉強

授業は面白いようなのですが、勉強はとにかく自主性に任されていると思います。学校の授業はレベルが高いと思います。我が家は学校と通信教育のみですが、駿台模試では、一応外部からの高校入試でも入れる(らしい)成績を取っていました。(と言ってもどれほどのものなのかはよくわかりませんが、ご参考までに…)

## 終わりに

中学生になると、ほとんどのことが親抜きで過ぎ去って行ってしまいますので、よくわからない事が多く、お役に立てなかったのではないかと思います。今回こうやってまとめる、という作業は私の頭の整理にもなりました。今後はもう少しアンテナを張り、また変更することがあれば適宜お知らせして行きたいと思います。

2010年2月